

真龍小学校の教育目標

- ◎心と体をきたえる子
- ◎美しい心をもつ子
- ◎考えて行動する子
- ◎生き生きと学ぶ子

平成28年8月31日発行 No.7

## 親からの教え

校長 渡辺 仁 平

オリンピックの開催中、いろいろな競技の選手のコメントがテレビから流れていました。柔道の男子73キロ級で優勝した大野将平は、見事な一本勝ちで優勝を決めた際、ガッツポーズも笑顔もなく、深く礼をして畳を下りました。畳を降りてからコーチと抱き合い、喜びを表していました。その日に出演したNHKのインタビューでそのことについて質問され、「対戦した相手への礼儀である。」と答えていました。大野選手の姿勢は、忘れてはならない日本人の心であると感じていました。両親をはじめ彼を取り巻く人々からの教えがその基盤にあったのだらうと思います。4年後に開催される東京オリンピックには、日本と日本を取り巻く世界がどのように変化しているのか推測の域を出ませんが、相手に対する「礼儀」「感謝」などは薄らいでほしくないと思っています。

さて、佐々木裕子氏は、その著書において、2050年の世界人口は96億人となり、現人口の約1.4倍になると想定しています。佐々木氏の想定のとおりになるのかどうかは不明ですが、それほど外れてはないであろうと感じています。

また、オックスフォード大学のマイケル・オズボーン氏は、「コンピューターの技術革新がすさまじい勢いで進む中で、これまで人間にしかできないと思われていた仕事がロボットなどの機械に代わられる。」など、コンピューター技術によって自動化され、人間が行う仕事の約半分が機械に奪われると予測しているそうです。

今の子どもたちが社会人として活躍するころ、その職業の半数以上が現在にはない職業であると主張している人もいます。

未来社会の在り様は不透明ですが、変化が激しいことは予想されます。そうした社会にあっても子供たちには、親から子へと受け継がれてきたであろう社会で生き抜くうえでの「美しさ」「強さ」「優しさ」を身につけてほしいと思っています。

歴史学者で上智大学第13代学長の石澤良昭氏は、親からの教えが大切であると次のように言っております。

両親は仕事が忙しかったですし、言葉で“しつけられた”という感じではなかったです。しかし、両親から言われ続けたことは“他人に迷惑をかけてはいけない”“出したものは元の場所に戻す”ということでした。子供でしたので人前で騒いでしまうこともありましたから、そのような時には、怒られました。あとは、他人を押し退けて先にバスに乗ってはいけない、食事の時に騒いではいけないなど何度も何度も言われましたね。人の「気持ち」を考え、人に迷惑をかけるような行動はしてはいけない。親が言う言葉にボキャブラリーはありませんでしたが、正直に話すことを教えられました。当時はそのような小言にわずらわしさを感じながらも、生活訓をしっかり身につけたことで、成人になってからの日常生活、また海外生活中でも困ることはありませんでした。

我が子が将来、社会人としてたくましく生きていくうえで身につけておくべきと考える基本的な資質などは、家庭における生活にあるのだらうと思います。将来が不透明であるからこそ、これまで以上に石澤氏の言う「生活訓」を大切にされた保護者の愛情を大切にしたいと期待を寄せております。

### 9月のこよみ

日	曜	行事
1	木	ALT 1~2校時特別日課 避難訓練(コンキリエ) 北海道シエイクアウト
2	金	厚岸町小学生体力測定競技会
3	土	
4	日	
5	月	町研9月研究大会(4月、5月、6雪) 避難訓練(予備日)
6	火	運動の日 厚岸町小学生体力測定競技会(予備日)
7	水	職員会議
8	木	参観日1・3・5年 ALT(2年・6年) 第3回PTA役員会
9	金	プール3年10:30~12:00
10	土	
11	日	
12	月	ALT(5年)
13	火	6年生修学旅行
14	水	6年生修学旅行 プール4年10:30~12:00
15	木	6年生休業日
16	金	特別日課 クラブ③
17	土	
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	ALT(5年) 校外学習5年 北方領土学習6年
21	水	
22	木	秋分の日
23	金	前期終業式(5時間授業)
24	土	
25	日	
26	月	後期始業式(通常授業) 街頭指導
27	火	読み聞かせ ALT(6)
28	水	
29	木	ALT 人権教室3年
30	金	特別日課 委員会⑦

## 前期第二ステージ始まる

～子どもたちの学習環境を整える取り組み～

### 教員による取り組み

夏休みが始まって2回目のステップアップ教室が行われた日の午後、真龍小学校の先生方で、トイレや特別教室の清掃を行いました。普段、児童の清掃だけでは落としきれない汚れを落とし、休み明けに子どもたちが気持ちよく学習に取り組んで欲しいという願いで行っています。



←便座を一つ一つ外して、裏側までしっかりときれいになりました。

家庭科室の流し台の下の汚れも、すみずみまで汚れを落とし清潔な環境を保ちました。



### 保護者による取り組み

8月29日の参観日、保護者の方に窓ガラスの清掃をしていただきました。この取り組みも、児童では実施できない窓ガラスなどを清掃していただくことで、学習環境を整えるとともに、保護者の方へ感謝の気持ちを育むことを目的として行っています。この活動は、9月8日の参観日にも行われる予定です。



←家庭科室の棚の奥の窓を、棚にのぼって拭いてくれました。

音楽室の窓の高いところまで、手をのばして拭いてくれました。

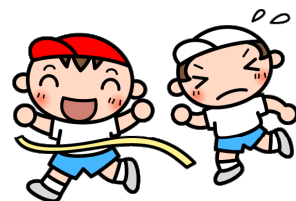


### 厚岸町小学生体力測定競技会

9月2日に実施される上記の競技会は、子どもたちが自分の体力や運動能力に関心を持ち、体力作りの励みになることを願って行われます。町内の3年生以上の小学生が一堂に介して行うことで、児童間の交流を図ることも目的となっています。行われる種目は、右の4種目ですが、体力手帳（学校保管）に記入した種目と共通していますので、その記録と比べてみるのも意欲向上つながるかもしれませんね。

#### 実施種目

- ・50メートル走
- ・立ち幅跳び
- ・ソフトボール投げ
- ・20Mシャトルラン



実施場所～厚岸小学校グラウンド

### 真龍おはなし隊からの8月のおすすめ本紹介

担当：車塚さん（6月、3雪）

- ◇「おかあさん だいすきだよ」
- ・宮西 達也（文）
  - ・金の星社（発行）

この本は、春の読書週間の時に読んだ本です。子どもたちに読んだ後、これは子どもよりお母さんに読んでほしい本だ！と思いました。

主人公は幼稚園に通っている男の子。朝の支度が遅れたり、片付けができなかったり、お手伝いをするけど失敗して、その度にお母さんはガミガミ怒ります。「はやくはやく！」「いつもそんなだから！」「何回言えばわかるの！」あるある、うちも毎日そうだって思うお母さんは多いのではないのでしょうか。夏休みなんて特に怒るネタのオンパレードですよ。（^\_^;）こんなに怒ってばかりのお母さんなのに、主人公のぼくは心からお母さんが大好き。一日の終わり、眠りにつきながらこう思います。「おかあさんだいすきだよ。でも怒られなかったらもっとだいすきだよ」そんなぼくの寝顔を見ながら、お母さんはつぶやきます。「お母さんもね、あなたがだいすき。」

ここから先は、ぜひご自身の目で……。私は読み終わった後、涙が出てしまいました。怒らなかった日はないのに大好きだよって子どもに言ったのはいつのことだろう。子どもたちに読み聞かせをした後、「お母さんが怒るのはみんなのことを好きだからだよ」と話したけれど、私が言っても説得力がないんです。私はみんなのお母さんではないので。だいすきだよって言ってほしいのは、子どもの大好きなお母さんお父さんですから。

この本を読まなくてもいいので、たまには怒るより先に子どもさんに「大好きだよ」って言ってみて下さい。

### PTA会費

記念事業積立金

納入について



日頃からPTA活動にご協力いただき、感謝申し上げます。皆様のご協力により会計業務も順調に進んでおります。さて、今年度のPTA会費及び記念事業積立金の納入は、8月末をもって全納していただくことになっております。お手元の納入袋で確認の上、未納の方は納入くださいますようお願い申し上げます。なお、9月20日を過ぎても納入がない場合は、確認の文書を送付させていただきますので、重ねてお願い致します。不明な点は、事務局（真龍小学校 教頭）まで連絡してください。